

ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報
第36号
平成31年春

閻魔大祭と米粒名号



当山は、エンマ様として親しまれている井草町の利性院を兼務しています。利性院では、毎年1月と8月の16日に井草町自治会の方々とともに閻魔大祭を行っています。1月16日の大祭では今回初めて、米粒名号の実演と販売をしました。

米粒名号とは、小さな米粒に筆で南無阿弥



▲米粒名号を書いている小林育道上人

陀仏と書くことを言います。米粒に筆で書くとは信じられないようですが、当山には昭和三十八年に滋賀県のお寺から頂いたものがありました。

最近、従兄弟で長野の長谷寺の住職をしている小林育道上人が米粒名号を書けることを知りました。そこで今年1月の閻魔大祭に来て頂きました。6時の大祭に先立ち、5時から小林上人が米粒に南無阿弥陀仏と書くと、集まった方々からどよめきが起きました。また下野新聞社やわたらせテレビからも記者やクルーが来ており、めったに見られない米粒名号を取材していました。

米粒名号は固い紙に固定して小さな瓶に入れ、ストラップを付けて千円で販売しました。売り上げはすべて小林上人が支援している熊本地震の復興のために寄付しました。



▲小林上人の書いた米粒名号

用水の擁壁工事



当山の前を「逆さ川」の通称で親しまれている柳原用水が流れています。

江戸幕府が成立した後、当山を再興したのは足利の代官であった小林十郎左衛門です。十郎左衛門の子の彦五郎藤治は当山第六世の随天上人と協力して、この柳原用水を完成させました。この功績により、慶安四年（一六四八年）には幕府から領地朱印状が届き、知行地を与えられました。幕府より朱印状を受けた寺は山門を朱塗りにするのが許可されます。当山の山門が赤門なのはこの理由によるものです。

この赤門の由来となった柳原用水ですが、両側の擁壁の老朽化が進みました。当山側の擁壁が劣化して耐力が低くなったため、墓地が沈下することが危惧されるようになりました。また擁壁の間から雑草が生え、白壁のつ



▲擁壁が老朽化したため、沈下して塀にクラックが入りました

くる景観も損ねるようになりました。そこで市に陳情した結果、ようやく擁壁を補修してくれることになりました。四月より西側の擁壁から順に着手し、年度ごとに補修する予定です。

新年会と総会



去る1月20日の日曜日、夜の6時から相洲楼で役員による総会と新年会が開催されました。

総会では住職が昨年1年間の活動を報告するとともに、ペット供養墓、山門前駐車場、当山前を流れる柳原用水の擁壁の修復などについて話し合いました。その後新年会に移り、

岡部総代の挨拶に続き、深井総代の発声で乾杯して和やかな歓談になりました。途中、深井総代と世話人の相馬さんに恒例のスピーチをして頂きました。最後は小泉総代の中締めで、新年会を終了しました。



▲新年会で乾杯の音頭を取る深井総代

品田晃市さんと開宗八百五十年記念ロゴマーク

5年後の二〇二四年は、浄土宗開宗八百五十年にあたります。これに向けてロゴマークとキャッチコピー「お念仏からはじまる幸せ」が発表されました。

檀家の品田晃市さんが彫刻刀で木を削り、このロゴマークを作り、昨年1月に当山に寄贈して下さいました。それ以来大玄関に飾ってあるので、ご覧になった方もいることと思います。

品田さんは最初に雛人形を彫って寄贈され、次にロゴマークを寄贈されました。そしてこの度「俱会一処」という作品を彫られ、寄贈されました。俱会一処とは、浄土宗の三大經典の一つ阿彌陀經にある言葉です。その意味は、たとえこの世で別れを迎えようとも、お念仏をお



▲開宗八百五十年のロゴマークを彫刻でつくった品田晃市さん



▲雛人形と俱会一処の彫刻

称えするなら阿彌陀如来のいる極楽浄土に往生して再会できることを表します。この作品も大玄関に飾りますので皆様ご覧ください。

四月から山門前駐車場が使えません

一昨年、山門前の土地を借りて駐車場として利用してきました。ただ賃貸料が高いうえ、実際に使用するのは春と秋のお彼岸の中日、それと迎え盆の8月13日と送り盆の16日の年間4日間だけです。1月の総会で協議した結果、3月末日で契約を解約することにしました。3月の春彼岸にはまだ駐車できませんが、4月以降は使用できません。

なお小倉医院の斜め前に小倉医院の駐車場があります。この土地は当山が小倉医院に貸しています。お盆やお彼岸の中日、小倉医院は休みなのでこの駐車場を利用することが出来ます。100メートルくらいの距離なので、歩いてそれほどかかりません。境内が車で混雑する際にはこちらをご利用ください。

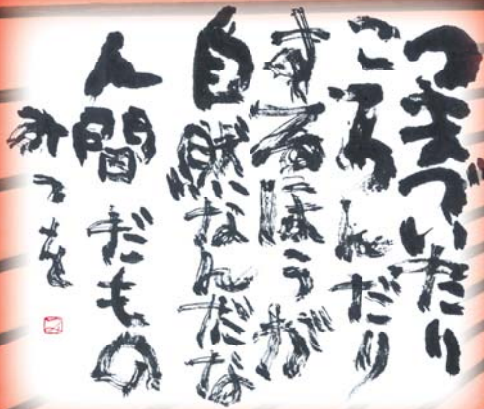


▲山門前駐車場、4月以降は使用できません

法玄寺

春の野点と 相田一人さん 講演会

境内で野点を行い、
本堂で相田みつを美術館の館長の相田一人さんの
講演会を開催します。
無料で着付けをしますので、
古都足利の春を着物で楽しめます
どなたでも参加できますし、
服装も自由なのでお気軽にお越し下さい。



4月29日(月)

2時より / 野点

3時より / 相田一人さん講演会

場所 / 法玄寺(織姫神社の東)

会費 / 抹茶と茶菓のみ実費200円です

講演は無料です

ちょうど足利ウォークラリーを行っており、当山も中継点になっておりますので、ウォークラリーでお越しの方も自由にご参加下さい

着付 / 庫裏にて無料で着付けを行います

着物のレンタル(有料)もあります

ご希望の方は下記までお申し込み下さい

大森美重子さん 090-7223-1102

駐車場

境内には関係車両しか駐車できません

両毛新聞社そば駐車場、織姫神社前駐車場、旧西小学校駐車場、

市営巴町駐車場(有料)、小倉耳鼻咽喉科前駐車場



■主催 / 法玄寺 ☎0284-21-2790 (ナビの利用の際にもご利用下さい)

■後援 / 足利商工会議所、足利観光協会、織姫奉賛会、両毛新聞社